

ESV学生安全技術デザインコンペティション日本地域決勝大会

最優秀チーム決定！

社団法人 自動車技術会（会長 大久保 宣夫）は、3月1日（木）にESV学生安全技術デザインコンペティション日本地域決勝大会を開催し、「金沢大学セーフティ R&D」が最優秀賞に、また「名城大学 ITS 研」「東京大学 チーム 007」が優秀賞に輝きました。

また、2007年6月17日～21日にフランス リヨンで行われる第20回ESV国際会議の2007 Student Design Competition に、日本地域代表チームとして「金沢大学セーフティ R&D」「名城大学 ITS 研」の2チームが派遣されます。

本コンペティションは、大学生・大学院生のチームが考案した安全問題を解決する新しい斬新な技術のアイデアのプレゼンテーションと実証実験によって競われました。

■各チームの紹介■

<金沢大学セーフティ R&D チーム>

チームリーダー 平野栄治
前田泰良
正木健彦
水尾大志
斎藤浩一郎
アドバイザー 榎本啓士



【発表概要】

衝突事故軽減に向けて、学生フォーミュラカーのノーズ部を題材に、変形による衝突エネルギー吸収効果について、実験的に検証した。用いた材料は、鉄系材料、アルミ系材料、コンポジット系材料を用い、それらの利点と問題点について整理した。



<名城大学 ITS 研チーム>

チームリーダー 田川晋也
岩倉高宏
アドバイザー 津川定之

【発表概要】

追突事故防止に向けて、先行車のハイマウンストップランプに可視光と赤外線を組み合わせた車-車間通信を提案。この安全技術は、可視光によりドライバーへの注意の喚起と、可視光・赤外線により先行車の詳細な情報をコンピュータビジョンに表示することを特徴とし、安価な撮影装置により読み取ることが可能であることを実証した。



<東京大学 チーム 007>

チームリーダー 岡田幸順
永田裕樹
平松昌人
アドバイザー 金子成彦

【発表概要】

急ブレーキを感知した際に、タイヤの接地面に粘着剤を散布し、これによって路面とタイヤとの粘着摩擦力を向上させ急ブレーキ時の制動距離を短縮させるシステムを提案。今回は、粘着剤の効果を確認する装置を製作して確認を行った。



《基調講演風景》

